

大学等の研究セキュリティ確保に向けた 文部科学省関係施策に係る検討会について

1. 趣旨・目的

国際的かつ開かれた研究環境が海外から不当に利用され、技術が海外に流出するといったリスクが国際的に認識されており、研究インテグリティ及び研究セキュリティの確保の重要性が高まっているところ。大学等における成果公開を前提とした研究を対象とし、文部科学省の関係施策における研究セキュリティの確保に向けた取組の在り方について、諸外国の事例や、大学等の研究現場の状況に詳しい有識者からヒアリングも行いつつ、検討を実施することを目的とする。

2. 主な検討事項

- (1) 大学等における成果公開を前提とした基礎基盤研究の中で、研究セキュリティ確保に取り組むべき研究対象の在り方
- (2) 大学等における研究セキュリティ確保の取組の在り方
- (3) 大学等における自律的な研究セキュリティの確保に向けて、文部科学省に求められる機能

3. 構成

議長： 科学技術・学術政策局長
構成員： 大臣官房審議官（科学技術・学術政策局担当）
 高等教育局国立大学法人支援課長
 高等教育局参事官（国際担当）
 科学技術・学術政策局参事官（国際戦略担当）
 研究振興局振興企画課長

4. 開催実績

令和6年10月17日 第1回検討会
令和6年11月12日 第2回検討会
令和6年12月11日 第3回検討会

5. 検討の過程でご意見を聴いた有識者

兼原 信克 笹川平和財団常務理事
菅野 了次 東京科学大学総合研究院特命教授
北村 隆行 京都大学名誉教授
佐々木孝彦 東北大学金属材料研究所教授
染谷 隆夫 東京大学大学院工学系研究科教授
渡部 俊也 東京大学未来ビジョン研究センター教授

※この他、科学技術振興機構研究開発戦略センターから研究セキュリティ確保に係る国際動向について聴取。